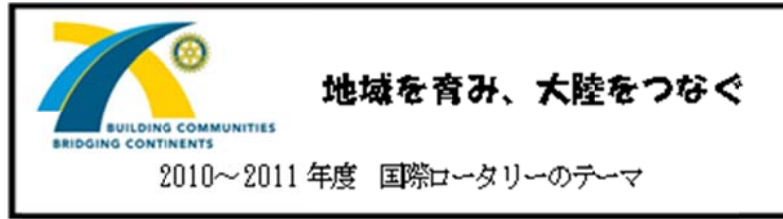




2010～11 年度
国際ロータリー会長

レイ・クリンギンズミス

Weekly Report Niigata



2010～11 年度
新潟ロータリー会長

樋熊 紀雄

新潟 RC 3 月第 4 例会 (2011.3.22) No.2889

(1) ロータリーソング「それでこそロータリー」斉唱

(2) 樋熊 紀雄会長挨拶

DMAT (災害医療支援チーム) について

3 月 11 日午後 2 時 46 分頃、宮城県三陸沖を震源とするマグニチュード 9.0 の巨大地震が発生し、引き続き地震によって引き起こされた最大高さ 14 メートルを超える大津波が三陸から福島県まで襲い、さらに広く太平洋沿岸にも津波が押し寄せました。

大津波が襲う情景はテレビ画面に幾度となく放映され、濁流となって押し寄せる様子は、悪夢としか思われぬ大惨事を引き起こしました。

死亡者、行方不明者を合わせ 2 万人以上とも報じられていますし、また避難生活者は 30 万人以上。寒い時期、暖房もままならない状態で避難生活を送る方々のストレス、慢性疾患など健康管理が大切になってまいりましょう。

この惨事に追い打ちをかけるように、福島原発の地震・津波による被害は、核エネルギーの恐ろしさを身を持って体験する事態となりました。一時も早い沈静化を行ってほしいものです。

さて、この大災害に際し超急性期の医療はどのように対応しているのでしょうか。

1995 年の阪神・淡路大震災で、災害医療について多くの課題が浮き彫りされ、この教訓を生かし、各行政機関、消防、警察、自衛隊と連携しながら救助活動と並行し、医師が災害現場で医療を行う必要性が認識されました。

DMAT とは、D=Disaster (災害)、M=Medical (医療)、A=Assistance、(支援)

T=Team (チーム) の略です。

目的は、「災害時に医療の最前線に立って、救える命を多くする」ためのチームの事です。1995 年の阪神淡路大震災で、地震発生後に建物の下敷きになるなどして、筋肉が圧迫され、筋肉細胞の障害・壊死により融出した物質ミオグロビンが全身に影響を及ぼし、特に急性腎障害を引き起こして死に至る状態いわゆる「クラッシュ症候群」や、腕や脚の筋肉を包む筋膜の圧迫により局所にむくみを生じ、血行障害が引き起こされるコンパートメント・シンドロームが多く発生しました。そのために如何に早く救出できるかが緊急の課題となりました。

DMAT を編成するチームは、独立行政法人国立病院機構・災害医療センターで研修が義務づけられています。ここでは、災害特有の外傷処置、水道・電気が途絶した環境下での治療法など「独特な緊急医療に関する方法・処置」を一人でも多くの命を救うために学びます。

このチームは、災害救急という環境下のため自己完結型を目指し出発しますし、そのために日頃から緊急の出動に備えて準備・トレーニングを積み、心電図、血圧の携帯型モニター装置、医薬品、衛星携帯電話を含む各種モバイル機器を持参して現場にいち早く到達し医療を開始します。

厚生労働省は全国に 200 チームを確保するために財源補助を行い、平成 17 年 4 月にこの制度が発足しました。チーム編成は、医師 2 名、看護師 2 名に調整員 1 名です。

このチームの仕事は発生後 48 時間から 72 時間です。現在では、現場の医療だけではなく災害地の病院機能を維持、拡充するために病院の指揮下に入り病院の医療行為の支援や、被災地外に搬送する広域医療搬送などにも医療的支援を行っています。

今回、全国から沢山のチームが参加したようですが、津波による溺死が多く DMAT の出番は少なかったと聞いています。

今後、多方面から息の長い支援が必要となりますので、会員の皆様方もよろしく願いいたします。

(3) 幹事報告（石川 治彦幹事）

- ・前橋ロータリークラブと予定しておりました3月27日のゴルフコンペと4月5日の合同観桜会は、前橋クラブ理事会の意向で取りやめになりました。
- ・4月よりロータリーレートが現行の84円から80円に変更になります。

**(4) 予定されていた「米山奨学生のお話」は、
東北関東大震災により奨学生が帰国した為延期**

代わって樋熊 紀雄会長のお話

「決議23-34、その決議の背景と推移」